

高浜市の
ココが知りたい
聞きたい!

まちづくり トーク&トーク 報告

「まちづくりトーク&トーク」では、市役所職員が、市民の皆さんの生活や活動の現場へ出向き、高浜市のまちづくりについて「こんなことが知りたい・聞きたい」といったテーマに基づいて、市の取組状況や課題などに関する説明やまちづくりに関する素朴な疑問などの意見交換を行っています。

今回は、NPO法人たかほまスポーツクラブの皆さんと「防災について」をテーマに実施。

高浜市の現状に即した防災のあり方について、「地震の基礎知識」や「高浜市の被害想定」の資料をもとに、「自助」の大切さを踏まえながらもスポーツ施設管理者として、「安全に避難するためには?」「地震や津波に対する対策は?」などの意見交換を行いました。

テーマ「防災について」(実施団体：NPO法人たかほまスポーツクラブ)

開催日/9月9日

会場/勤労青少年ホーム

Q 災害時にはパニックになると思う。パニックにならず安全に避難するポイントは?

A ●ポイントは「おはしも」と「いつもおかに」です。

- ㊦ = 押さない
- ㊧ = 走らない
- ㊨ = しゃべらない
- ㊩ = 戻らない

◆避難誘導がある場合 ◆自分ひとりの場合

- ㊪ = 一生懸命
- ㊫ = ついていく
- ㊬ = 戻らない
- ㊭ = 落ち着いて
- ㊮ = 考える
- ㊯ = 逃げる

Q 高浜の震度計ってどこにあるの? 青少年ホームだと津波が来た場合、どこに避難すればよいの?

A ●震度計は高浜消防署の敷地内にあり、そこで震度が表示されます。

●青少年ホーム付近については、津波による浸水被害は想定されていませんので、青少年ホームの2階に避難していただければよいかと思えます。

Q 猿投高浜断層はどの辺? 小中学校の耐震は大丈夫なの?

A ●南中学校から西に行くくと急に高くなるところが猿投高浜断層です。おおむね、クリーンセンター衣浦と高浜安立荘を結ぶラインです。

●校舎と体育館については、すでに平成15年度から、必要なところは耐震補強工事を行っています。しかし、体育館の天井などについては現在、教育委員会で検討しています。

参加者の主な感想

- ・災害時には「自助」→「共助」→「公助」といわれているが「自助」が最も大切だということがわかった。パニックにならないよう日ごろから備えていきたい。
- ・東日本大震災以後、昨年の国の発表で津波に対する被害想定の設定が変わり、高浜では津波の高さが2mから4mになった。体育センターや青少年ホームで勤務をしている時、このことを頭において対応していきたい。
- ・「津波てんでんこ」で、まず自分の命を守ることが大切だとわかった。援助の手が届くまで5日くらいかかりそうだということなので、家族で話し合って食糧や水などを備えていきたい。



「まちづくりトーク&トーク」は、市内で活動している10人以上の団体・グループを対象に、「説明を聞きたい」「意見交換をしたい」という希望テーマに基づき、随時実施しています。詳しくは問い合わせください。

申込・問合せ先 困地域政策グループ ☎52-1111(内線365)